

## 今年度の指導の重点に関わる状況について

今年度、県南教育事務所では、「人材育成」「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「共に学び、共に育つ教育（特別支援教育）」を重点として事業に取り組んできました。今号では、この5つの重点の今年度の取組状況と、来年度の方向性についてお伝えします。

### 1 「岩手で、世界で活躍する人材」の育成に関わって

＜目標＞「いわての復興教育」及びキャリア教育等の推進により、社会の変化に対応し、岩手の産業や地域を支える人材や、世界で活躍する人材を育成する。

地域の人的・物的資源を活用し、特色ある取組を進める学校が増えています。児童生徒が、将来に夢や目標をもったり、地域に愛着をもったりするためには、体系的な教育活動を、より一層構想したり推進したりしていく必要があります。

☞復興教育研修会、実践的キャリア教育研修会を通して、地域の実情を踏まえた具体的な実践の交流を図り、各校の取組の構想・推進を支援します。

### 2 「確かな学力」の育成に関わって

＜目標＞各学校の組織的取組を土台として、日々の授業や諸調査から明らかになった児童生徒の「つまずき」に着目し、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善に生かすことを通して、児童生徒一人ひとりの資質・能力を育成する。

授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている小・中学生の割合が昨年度より増加しました。教師主体の授業ではなく、子ども同士の対話的な学びを大切にした授業づくりに取り組む先生方が増えてきたことによるものと考えられます。

☞訪問事業や各種研修会等を通して「確かな学力育成プラン」をもとにした学校の組織的取組を支援します。また、諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着眼した授業改善に向けた学校の取組を支援します。

### 3 「豊かな心」の育成に関わって

＜目標＞生徒指導や道徳教育等の充実により、児童生徒一人ひとりの規範意識や自己肯定感、思いやりや協調性など、豊かな心を育成する。

「先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合」が、小中ともに増加しています。学校全体で他者との温かい関わり方や言葉遣い、思いやりの心を育む教育に取り組んでいることが成果となっていることが考えられます。

☞生徒指導の充実を図るために、研修等を通して、「不登校・いじめの防止に係る組織的対応」等について、組織的対応を推進します。道徳教育の充実のために授業改善の視点を中心とした研修を実施します。

### 4 「健やかな体」の育成に関わって

＜目標＞自らの体力や健康に関心を持ち、生涯にわたる体力の向上や健康の保持増進につながる資質・能力を育成する。

運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合は、昨年度同様高く、先生方が児童生徒に、体育の多様な楽しみ方を味わわせている成果だと考えられます。肥満度が正常の範囲内の割合は、昨年度並みですが、運動時間が減少している点が気になるところです。

☞研修会・訪問事業を通して、よりよい生活習慣の確立に向けた『60(ロクマル)プラスプロジェクト』の推進を支援します。

### 5 「共に学び、共に育つ教育」の推進に関わって

＜目標＞「共に学び、共に育つ教育」の理念のもと、支援を必要とする児童生徒一人ひとりに対する教育的ニーズにきめ細かく応える支援体制を整備し、個々のもてる力を伸ばしていく。

様々な支援を必要とする児童生徒が増える中、中学校において、「生徒の特性に応じた指導上の工夫を行っている学校の割合」が増加しました。引き続き「個別的教育支援計画」を活用し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた組織的支援が求められます。

☞研修会や特別支援エリアコーディネーターによる支援を通して、通常の学級も含めた校内支援体制構築や授業実践への支援を行います。

令和6年度も、たくさんのご協力ありがとうございました。令和7年度、県南教育事務所では、「夢や希望を持ち、県南の未来を創造する人づくり～つながりや支え合いの中で、自分らしくいきいきと学ぶことを目指して～」をスローガンとして各種事業に取り組んでいきます。